

一般財団法人 滋賀県民間社会福祉事業職員共済会
地域共生型社会推進事業助成金

事業完了報告書（公開用）

1、概要

報告日	西暦 2019 年 4 月 30 日
報告者	伊部 尋海
助成団体名 (所属団体名)	ほほえみボランティア
団体住所	〒 529-0304 滋賀 都道府県 長浜市小谷丁野町2481-1
団体電話番号	0749 — 78 — 2006
代表者 (助成対象者)	伊部 尋海
助成対象事業	～みんなで育ちあい、安心できる居場所、仲間づくり～おひさま広場
事業（助成）期間	2016 年 6 月 27 日 ～ 2019 年 3 月 31 日
事業費総額	348,319 円
助成金総額	348,319 円

※住所・電話番号等は団体のものを記載し、個人情報に関わることは記載しないでください。

次ページ以降に「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」を簡潔に記載してください。

注意事項

- ①共済会ホームページに掲載しますので**個人情報の掲載は禁止**します。
- ②「事業内容」、「事業成果」、「今後の課題など」は**合計5ページ以内**で作成してください。
- ③**写真の掲載は原則禁止**しますが、どうしても必要な場合は**最小限度**に留めてください。
- ④写真を掲載される場合は必ず**撮影対象の方に事前に了承を頂く**ようお願いします。
- ⑤必ず Word ファイルのまま shigakyo@cello.ocn.ne.jp へメールにてお送りください。

2、事業内容

* 事業の目的

現代の子育て状況は、核家族化や地域のつながりの希薄化などにより、子育ての手助けを求めにくくなり、育児不安をかかえたまま孤立化する母親が多くあります。

本事業では、子育ての不安や悩みの相談に応じたり、子どもとのかかわり方やふれあい遊びを伝えることで、楽しく子育てできる場所や母親たちのネットワーク作りの機会をつくります。

* 年間計画・目的・期待される効果

1. ベビーマッサージ 年3回

0才児の親子を対象に、講師を招いて、ベビーマッサージを教えてください。ベビーマッサージは、赤ちゃんの情緒が安定し、親子の愛着形成に有効であるため、リラックスした時間の中で、赤ちゃんとしっとりかかわってもらう機会をつくります。又、0才児の間は、外出が何かと難しく、孤立しやすいので、母親のネットワークづくりにも良いと思われれます。

2. わらべうた遊び 年3回

未就園児の親子対象。テレビや音楽、様々なメディア環境の子育て状況の中、お母さんのやさしい歌声につつまれて眠ることや、ふれあい遊びをすることは親子関係を結ぶ大切な遊びです。マンツーマンの育児では、ついテレビやCDの音楽に頼った育児をしてしまいがちです。日々の遊びの幅が広がるように専門の講師にきていただき、わらべうた遊びで遊びながら母親同士のネットワーク作りも支援していきます。

3. プレママ体験

1～3の活動に初めての出産の方も参加できます。核家族化がすすむ中で、初産の女性が、過去に小さい子にふれあっている機会がきわめて少なくなってきました。出産後、どういふうに子どもが大きくなっていくかを、遊びに参加する中で感じ取っていただき、出産に対する不安をやわらげ、出産後も一人で子育てしなくていいんだという安心感を持つ場となるように支援します。

4. 相談事業

1～3の活動の中で、母親の育児不安や悩みに寄り添い、相談に応じます。子どもへの声かけや寄り添い方を伝え、栄養面、療育的な悩みは、専門機関につなげ、連携をとっていきます。

5. 手作りおもちゃの紹介

子どもの発達に合わせた手作りおもちゃを紹介し、作り方などもお伝えします。日々の遊びの幅が広がります。

6. 絵本の紹介

子どもの発達に合わせた絵本を紹介し、家庭での読み聞かせの普及につとめます。

3、事業成果

ベビーマッサージ年3回、わらべうた遊び年3回、園庭で遊ぼう（園児との触れ合い活動）年5～6回、作って遊ぼう（お店屋さんごっこ遊び）、リトミック、歌遊びなどを実施した。

本事業により、子育ての不安や悩みの相談、子どものかかわり方やふれあい遊びを伝えることで、楽しく子育てできる場所や母親たちのネットワーク作りの場を提供することができた。

*ベビーマッサージ 年3回 計9回 参加者延べ人数 97名

0才児の親子を対象に、講師を招いて、ベビーマッサージを教えていただいた。家庭でしやすいマッサージをプログラムし、3回コースにわたって、同じ手技を行った。又、母親同士がネットワークを作りやすいように、自己紹介やふれあい活動も取り入れた。

1回目：ベビーマッサージ・手作り玩具の紹介

2回目：ベビーマッサージ・食事の仕方について

3回目：ベビーマッサージ・0歳児むけ絵本の紹介

*わらべうた遊び 年3回 計9回 参加者延べ人数 90名

講師を招いて、わらべうた遊びをし、親子でゆっくりと触れ合える時間を設けた。子どもとの関わり方がわからないお母さんたちも、いろいろなふれあい遊びを教えてもらう中で、子どもと一緒に楽しんでおられる姿がみられた。

*園庭解放

こども園の園庭を借りて、自由に遊んでもらいました。大きいお姉ちゃんやお兄ちゃんの遊びを見たり、一緒に遊んでもらったり・・・楽しく過ごされました。

夏期は、園舎内で遊んだり、水遊びもしました。

*お店屋さんごっこ 2回 33組親子

お店屋さんごっこを楽しみました。大きいお姉ちゃん、お兄ちゃんと言葉のやりとりを楽しんでいる姿がありました。

*子守歌を歌おう 1回 19組親子

講師を招いて子守歌や季節の歌を歌いました。お母さんの歌声を聞いて、身体を揺すったり、一緒に歌っている子もいました。お母さんもみんなと歌うことで、心地よい発散をすることができました。

*リトミック・うた遊び 1回 15組親子

講師を招いてリトミック・うた遊びをし、音楽に合わせて、身体で表現したり、歌ったり楽しく過ごしました。0歳児の方もだっこしてもらい、ニコニコで参加しておられました。雛祭りの前だったので、パネルシアターなどを見ながら、親子でうたを歌ったり、ゆったりと過ごすことができました。

*コーナー保育や育児情報の提供

「離乳食を体験しよう」ということで、お母さん同士で食べさしあいっこをして、子どもへの介助のあり方を伝えたり、「スマホで育児をやめましょう」というテーマで、メディアでの育児の危険をお伝

えしたりしました。又、手作り玩具、赤ちゃん絵本、指先遊びやプレイルームでの運動サーキットも用意して、親子でゆったり遊んでいただきました。

* 相談事業

活動の中で、母親の育児不安や悩みに寄り添い、相談に応じました。子どもへの声かけや寄り添い方も具体的に伝えました。

* 手作りおもちゃの紹介

子どもの発達に合わせた手作りおもちゃを紹介し、作り方などもお伝えしました。

* 絵本の紹介

講師の先生にきてもらい、子どもの発達に合わせた絵本を紹介し、絵本リストも配布しました。又、テレビやスマホでの育児は子どもの発達によくないことなども、資料をもとにお伝えしました。

4、今後の課題など

* 楽しく子育てできる場所や母親たちのネットワークづくりの支援

育児不安をかかえたまま孤立化する母親が増加する中で、楽しく子育てできる場所や母親たちのネットワーク作り支援のニーズは、益々高まっています。

又、スマホやタブレットでの育児が進む中で、親子のふれあいの減少、子ども達の発語の遅れ、コミュニケーション力の低下など課題が山積です。

今後も子育ての不安や悩みの相談に応じたり、子どもとのかかわり方やふれあい遊びを伝えること、育児情報を提供していくことが必要です。